

# めいわ かわら版



明和第二保育園 保育士

## ゆ み げ た ま な み 弓 柝 麻 奈 未

小さな子どもが大好きで、小学生のころから保育士に憧れていたという弓柝麻奈未さん。一足先に保育士になる夢を叶えた従姉の背中を追いかけるように、2020年4月、社会福祉法人明和会で保育士としてのスタートを切りました。勤務する明和第二保育園では、前年度に続いて1歳児クラスを担当。子どもたちから元気とパワーをもらいながら成長を目指す弓柝さんに、保育士としての日々を伺いました。

——明和第二保育園を希望した理由を教えてください。

在学中に、自宅近くのこども園や大学付属の保育園など、いくつかの保育施設で実習した経験がありました。明和第二保育園には、入社試験直前の2月下旬ごろに施設見学で訪問。園長の人柄に惹かれたことと、それまで見てきた施設の中でも、職員の方たちが皆明るい雰囲気だったのが印象的でした。「この園なら、良い人間関係のもとで働くことができそうだな」と感じたのが、入職した一番のきっかけです。

——夢だった保育士の仕事、実際に働いてみていかがでしたか。

1歳児クラスには現在12名の園児が在籍しており、2名の保育士で担当しています。子どもたちの遊び相手はもちろん、食事の手伝いや衣類の着脱の補助など、成長に合わせたサポートを行います。クラス保育終了後は、遅番保育を担当したり、退勤時間まで保育日誌の記入などを行っています。はじめはとにかく仕事を覚えるのに必死で、全ての業務が手探り状態。その後半年くらいは心にも余裕がなくて、子どもたちと接していることも笑顔が少なくなっていると感じることがありました。今は気持ちも落ち込んだときは、子どもたちの笑顔に接すると元気をもらうことができます。

——この一年でどのような学びがありましたか。

子どもたちは毎日元気いっぱい。ときには騒がしくなってしまう、次の行動に移るための声掛けがなかなか伝わらない状況に陥ることもあ

り、クラスをまとめる難しさを実感しました。思うように保育を進められず、子どもたちにも申し訳ない気持ちになって落ち込む日も……。うまくクラスをまとめるには、子どもたちの注意をひきつける工夫が必要なのだ学びました。例えば「いとまきのうた」などの手遊び歌やパープサート。ほかにも、小さなホワイトボードにイラストを描いて歌に合わせて出すと喜んでくれます。

「はたらくるま」を好きな子が多く、特にブルドーザーなどの工事現場の車両は人気。ただし、そのイラストは難易度が高すぎて、子どもたちには全然伝わっていなかったようです(笑)

この一年間であらためて感じたのは「やっぱり子どもが大好きだな」という思いですね。

——最後に、今後の意気込みを聞かせてください。

2度目となる1歳児クラスの担当。前年度の反省を活かしつつ、毎日子どもたちに負けないように元気いっぱい頑張りたいと思っています



す。担任としての責任感からなのか、前年はいつさい病氣もせず、一年間休まずに勤務できたので、引き続き日々の体調管理には気を配ってまいります。

また、クラス全員でのフィンガーペイントにも挑戦しようと思っています。保育室に大きな模造紙を広げて、絵筆を使わず、絵の具を直接手のひらにつけて描く手形アート。絵

を描くというよりも、絵の具の感触を楽しんでもらうのが目的です。前年度は残念ながらチャンスを逃してしまっただけで、今後は自宅ではなかなかできないような活動に、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

幼少期から中学2年生まで、書道習っていたという弓柝さん。筆の実力は8段の腕前。中学時代は絵に没頭し、高校時代は箏曲に挑戦。本当はピアノより琴の方が得意なのとか。いずれ、それらの特技を披露する場面があるかもしれませんね。保育士としての道を歩み始めて2年目を迎えた弓柝さん。今後ますます成長する姿を見せてくれることでしょう。



<企業情報>  
社会福祉法人明和会  
■法人認可：1966年11月  
■事業活動収入：22億円  
※2020年6月時点  
■問い合わせ先：0538-42-3228



# 拠点 紹介

小規模多機能型  
居宅介護事業所  
明和ふかみの家 所長  
くほの よしり  
窪野 良則さん



# 明和ふかみの家

全てのサービスを9名だけでこなす、明和ふかみの家。そんな事業所の強みや思い出エピソードを所長の窪野さんにお聞きました！働く皆さんがオールマイティーにこなせる秘訣とは……？

## 主な業務内容

小規模多機能型の特徴であるデイサービスを中心に、ショートステイとヘルパーを組み合わせ、介護が必要な利用者さんの在宅介護をお手伝いしています。また市内の居宅介護事業所等に伺い、PRを行って利用者さんを増やす営業もしています。私はケアマネージャーも兼務しており一人ひとりに合わせた個別ケアプランを作成しています。送迎や訪問してご家族に利用者さんの状況を伝え、介護時のアドバイスもする役割を担っています。

## 自慢できるところ

明和会の中で最も新しい施設で、介護保険上の地域密着型サービスの強みを生かし、利用時間の自由さ、お食事やお風呂だけの短時間でも利用ができます。すべてのサービスを同じスタッフが行うので、認知症がある利用者さんも混乱が少なくご利用いただけ、ご家族にもリアルタイムに情報を共有できることも大きな自慢です。

## 独自の取り組み

利用者さんは私達にとって人生の大先輩ですので、敬意を払ってサービスを行い、ふかみの家にいる間は楽しく笑顔いっぱい過ごしていただけるように意識しています。取り組みとして、毎日午前と午後ミーティングを行っています。利用者さんの情報共有や支援方法の統一化を図るため、時には本気で意見をぶつけ合い、さらに良いサービスを提供できるよう努力しています。



大切な宝者、一緒にはたらくスタッフです！

## 思い出深いエピソード

デイサービスには絶対行きたくないという方がいました。しかし家族はなんとか行ってもらいたい……。何度も何度も訪問し顔を知ってもらって、半日だけデイに来られるようになって、笑顔で楽しく過ごしてもらえるようにいろいろ工夫し、今では「明日も来ていい？」と言ってくれます。利用していただけるよう試行錯誤をしたことで職員のスキルアップにもつながりました。

## 仕事のやりがい

利用者さん一人ひとりの希望に合わせて計画書を作成するので、とても責任重大だなと感じますし、満足していただけているのか、常に不安と隣り合わせで仕事をしています。利用者さんやご家族の方にちょっとした感謝の言葉をいただくと、嬉しさと同時に今までの大変だったことが吹っ飛ぶようなやりがいを感じます。「ふかみの家を利用してよかったよ」という言葉は本当に嬉しかったことを覚えています。

## 今後の目標

利用者さんを増やすことはもちろん、皆さんの人生に関わらせていただく仕事なので、尊厳を大切にその方に合った介護をしていきたいです。またスタッフは心が優しく常に前向きなので、明るく笑いが絶えないこの環境を継続します。そして日本は現在、4人に1人が高齢者、7人に1人が認知症を患うと言われています。認知症について日々勉強し、研修も受け、その情報を共有することで、スタッフ全員が認知症介護のプロ集団を目指したいと思います。

### 現在の仕事内容

小規模多機能の事業所に勤めており、デイサービスや泊まり・訪問での介護サービスをしています。食事や入浴といった、日常生活支援。また、レクリエーションや月に一度のイベントの内容を考え、開催しています。

### 入社のきっかけ

明和会に来る前は、8年ほど特別養護老人ホームで働いていました。老人ホームで働く中、新しく開設する施設で業務の基盤を作りたいと思うようになりました。そんなとき、明和会で働いていた専門学校時代の同級生に紹介されたことがきっかけです。開設後3か月のときに入社し、組織の基盤づくりに貢献できたと思います。

### 工夫していること

利用者さんには笑顔でいてほしいと思っているので、冗談も交えつつ、楽しく会話するようにしています。スタッフの忙しさを利用者

さんに気づかれないようにすることも、大切です。忙しいことが伝われば、利用者さんが気を使ってしまいます。

### 休日の過ごし方

休日は4歳の息子と遊んでいます。今の時期はコロナの影響で人混みには行きづらいため、公園の遊具で遊んだり、平日の人の少ない動物園に行ったりしています。また、私はディズニーが好きなので、ディズニーランドの動画を見て楽しんでいます。実際にディズニーランドに行くのは、当分先になりそうです。

### 今後の目標

利用者さんからもスタッフからも、「高木に任せれば安心だ!」と思っていただくことが目標です。何かあったらすぐ頼っていただけるよう、信頼を掴みたいと思っています。よろしくお願いたします。



たかぎ けいすけ  
高木 計佑さん

# スタッフ紹介

今回は明和ふかみの家で働く、高木さんと船橋さんにお話を伺いました！  
2人とも利用者さんを第一に考え、日々の業務に励んでいます。



ふなはし まい  
船橋 麻衣さん

### 現在の仕事内容

通い、泊まりでの介護サービスです。食事や入浴といった生活の手助けをしています。利用者さんと一対一でお話する機会も多いと思います。

### 入社のきっかけ

祖父母の影響です。子どものときに祖父母と一緒に住んでおり、可愛がってもらっていました。しかし、祖母が認知症になってしまいました。一人で生活もできず、寝たきりになってしまいました。母と2人で介護していたのですが、介護に関する知識がなく苦労しました。そのときに、介護の勉強をしようと思ったことがきっかけです。

### 工夫していること

レクリエーションの内容を考えるときは、全員が楽しめるもの考えるようにしています。輪投げやおもちゃの魚釣りのような、

誰にでもできる遊びが理想です。他にも、季節や行事に合わせたレクリエーションを考えることも。また、いちご大福やたこ焼きといった、簡単な料理もよく行ないます。

### 休日の過ごし方

もうすぐ9歳になる息子がおり、休日は家事や育児をしています。土日も仕事なので、息子と一緒に過ごす時間は少なくなっています。そのため、休みの日は息子のために、近所の公園に行ったり、子どもの友達と遊ばせたりしています。息子が料理好きなので、一緒にパンケーキを作ることもあります。

### 今後の目標

来年に介護福祉士の資格を取るために、2021年6月から実務者研修を受ける予定です。自分の知識を増やし、利用者さんに喜んでいただきたいと思っています。